

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 竹内 栖鳳 ～

1864年（元治元年）～1942年（昭和17年）。

京都府出身。日本画家。

1924年（大正13年）フランスのレジオンドヌール勲章受章。

1937年（昭和12年）第1回文化勲章受章。

近代日本画の先駆者で「西の竹内栖鳳、東の横山大観」と言われ、日本画壇をリードしました。

1900年（明治33年）パリ万国博覧会の視察やヨーロッパの美術行脚を行い、ターナーやコローなどから影響を受けました。

けものを描けばその匂いまで表現できると評され、重要文化財「班猫」の作品などを残しました。

また、弟子の育成にも力を入れ、上村松園、小野竹喬、土田麦僊、三木翠山ら日本画壇に名を残した多くの門人を育てました。

1915年（大正4年）大正天皇即位御大典御用「主基地方風俗歌屏風」を上納しました。

1920年（大正9年）1月13、14日に愛知県岡崎市の岡崎公園の巽閣に於て、擣衣書房の岡田撫琴主催で第1回の京都在住の画伯達の作品即売会が開催されています。出品者名簿には竹内栖鳳、上村松園、小野竹喬らの名前が記載されています。

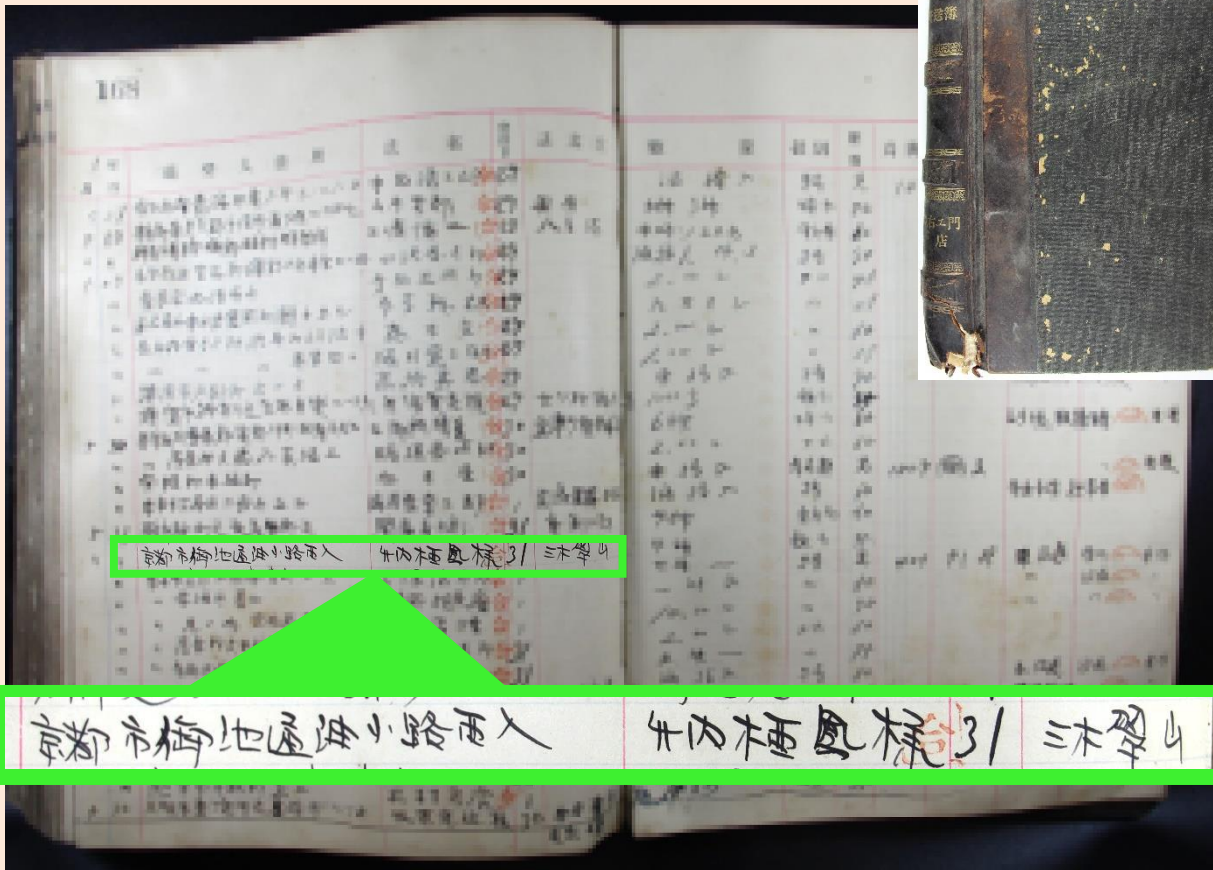
「京の美人画100年の系譜（京都市美術館名品集）」（2015年・青幻舎発行）に、竹内栖鳳、上村松園、土田麦僊ほかの作品が収録されています。

今年（2023年（令和5年））は京都市京セラ美術館で「京都市美術館開館90周年記念展 竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー」（前期10月7日～11月5日、後期11月7日～12月3日）が、京都国立近代美術館で「開館60周年記念 京都画壇の青春—栖鳳、松園につづく新世代たち」（前期10月13日～11月12日、後期11月14日～12月10日）が開催されています。

当社史料室には1928年（昭和3年）に三木翠山の御用命により、竹内栖鳳の自宅宛に味噌をお送りした記録が残っています。

岡田撫琴について詳しくは「カクキューの八丁味噌を愛した著名人」の「岡田撫琴」をご覧ください。

荷物発送簿(表紙)



京都市梅田通舟小路西入 竹内栖鳳様 3/ 三木翠山

京都市梅田通舟小路西入

竹内栖鳳様 3/ 三木翠山

三木翠山の御用命により竹内栖鳳の自宅宛に味噌をお送りした記録(昭和3年5月31日)

9784861525094

1920071028002

ISBN978-4-86152-509-4
C0071 42800E
定価: 本体 2,800 円 + 税

*A Century
of Kyoto Bijin-ga*
Masterpieces from the Kyoto Municipal Museum of Art

京の美人画 100年の系譜
A Century of Kyoto Bijin-ga Masterpieces from the Kyoto Municipal Museum of Art

変わりゆく、女性を描く。

本書の章立て

- 1 美人画誕生—美人絵から美人画へ
- 2 京都に咲く—文学・謡曲に生きる女性たち
- 3 社会化される女性像と生命化される女性像
 - 4 少女礼讃
 - 5 日常生活の中の女性たち
 - 6 モダニズムに描かれる女性たち
- 7 女性像とフェルム—裸婦像と母子像
- 8 京の女—舞妓や大原女を描く

はかの名

広田多津
前田青都
堂本印象
秋野不矩
菊池契月
甲斐庄楠音
梶原緋佐子
橋本閑雪
土田麦徳
上村松園
竹内栖鳳

江戸後期から昭和まで
名品約140点を収録

京都ゆかりの
画家たちが描いた
女性美の変遷

「京の美人画 100年の系譜 (京都市美術館名品集)」(2015年・青幻舎発行)

京都市美術館開館90周年記念展

竹内栖鳳

破壊と創生のエネルギー

2023 10.7土 - 12.3日

【前期】10月7日(土)～11月5日(日) 【後期】11月7日(火)～12月3日(日)

京都市京セラ美術館

本館 南回廊1階 〒606 8344 京都市左京区岡町13番地124
TEL: 075771-4334

開館時間: 10:00～18:00 (入場は閉館30分前まで)
休館日: 月曜日 (祝日の場合は開館)
観覧料: 一般 1,800円 / 大学生・高校生 1,300円 / 中学生以下: 無料
※小学生以下、団体・学校・福祉施設、要予約。要予約は別途要料あり。要予約は別途要料あり。要予約は別途要料あり。
主催: 京都市、京都新聞、ライブエグザム、BSフジ、日本経済新聞社
協力: 株式会社サンエムカラー

京都市京セラ美術館
Kyoto City KYOCERA Museum of Art
kyotocity-kyocera.museum

October 7 (Sat) - December 3 (Sun.)
Part 1 October 7 (Sat.) - November 5 (Sun.)
Part 2 November 7 (Tue.) - December 3 (Sun.)

Main Building South Wing 1F 124 Okazaki Bldg.
06068344 Japan
Opening Hours: 10:00-18:00 (Last admission: 17:30)
Museum closed on Mondays, except public holidays.
Admission Fee: Adult ¥1,800 (Advance / Group) ¥1,600
University / High school student ¥1,300
Junior high and younger students ¥1,000
Organizers: City of Kyoto, The Kyoto Shimbun, LI
BS FUJI INC., Nikkei Inc.
Support: SunM Color Co., Ltd.

チケットの主な販売先 美術館公式オンラインチケット、チケット
ローソンチケット【Lコード64669】、セブンイレブン

Kyoto City Museum of Art
90th Anniversary Exhibition
Takeuchi Seiho:
A Destructive
and
Creative Force

京都市京セラ美術館「竹内栖鳳 破壊と創生のエネルギー」展覧会

竹内栖鳳 重要文化財《絵になる最初》
1913年 京都市美術館蔵 後期展示

